

## 令和2年度（第49回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました

### 1 川崎市文化賞等受賞者（敬称略）



〔川崎市文化賞〕  
みやた すすむ  
宮田 進（教育）



〔川崎市文化賞〕  
わかみや たかのり  
若宮 崇令（教育／学術）



〔川崎市文化賞〕  
いとう たきお  
伊藤 多喜雄（芸術）



〔川崎市社会功労賞〕  
べえ ちゅんど  
裴 重度（社会福祉）



〔川崎市社会功労賞〕  
やまうち のりあき  
山内 典明（保健衛生）



〔川崎市スポーツ賞〕  
かわさき  
川崎ブルーソックス（スポーツ振興）



〔川崎市アゼリア輝賞〕  
かがやき  
ほんだ けい  
本田 奎（文化）

### 2 川崎市文化賞等贈呈式 ※詳細は後日改めてお知らせいたします。

- (1) 日時 令和2年10月29日（木）午後2時30分～午後3時30分
- (2) 場所 川崎市国際交流センター

（問合せ先）  
川崎市市民文化局市民文化振興室 担当 永石  
電話 044-200-2122

<目 次>

	(ページ)
1 令和2年度川崎市文化賞等受賞者一覧	1
2 受賞者のプロフィール・略歴（敬称略）	
(1) 川崎市文化賞受賞者	
宮田 進	2
若宮 崇令	4
伊藤 多喜雄	6
(2) 川崎市社会功労賞受賞者	
斐 重度	8
山内 典明	10
(3) 川崎市スポーツ賞	
川崎ブルーソックス	12
(4) 川崎市アゼリア輝賞	
本田 奎	14
3 令和2年度川崎市文化賞等選考委員	16
(参考)	
1 川崎市文化賞等実施要綱	17
2 川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表	19
3 これまでに受賞された方々	21
4 川崎市文化賞等の経過について	24

# 令和2年度 第49回川崎市文化賞等受賞者一覧

(敬称略・令和2年9月15日現在)

賞	氏名	年齢 活動年数	分野	住所
文化賞	みやた すすむ 宮田 進	80	教育	川崎市高津区
	わかみや たかのり 若宮 崇令	77	教育／学術	長野県
	いとう たきお 伊藤 多喜雄	69	芸術	川崎市高津区
社会功労賞	べえ ちゅんど 斐 重度	76	社会福祉	川崎市川崎区
	やまうち のりあき 山内 典明	66	保健衛生	川崎市川崎区
スポーツ賞	かわさき 川崎ブルーソックス	12	スポーツ振興	川崎市
アゼリア輝賞	ほんだ けい 本田 奎	23	文化	東京都

## 文化賞等贈呈の趣旨

文化賞	本市における文化芸術の向上・発展に尽力され、その功績が顕著な方、教育・学術・芸術の分野で創造的な活動・実績により本市のシティセールスにつながる成果をあげ、その功績が顕著な個人又は団体に贈呈するもの。
社会功労賞	市民生活や地域社会の向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著な個人又は団体に贈呈するもの。
スポーツ賞	国際大会等で優秀な成績を残された個人又は団体、並びに、スポーツの普及・振興に尽力された個人又は団体に贈呈するもの。
アゼリア輝賞	文化・芸術分野など、現在活躍中の若年層及び中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体に贈呈するもの。

## 川崎市文化賞受賞者のプロフィール

みやた すすむ  
宮田 進

～不登校の児童・生徒の心に寄り添って～

川崎市の市立小学校長、小学校長会会長、教育委員長などを歴任された後、不登校児童・生徒の学校復帰を支援する認定NPO法人教育活動総合サポートセンターを退職教員とともに設立されました。不登校児童・生徒が増加するなか、一人ひとりの子どもの心に寄り添いながら、学校への復帰の支援や居場所づくりに取り組んでこられました。同法人は、教育委員会や学校と連携しながら、川崎市の学校教育に大きな貢献をしており、その中心として法人の活動を牽引されました。また地域の文化活動に取り組み、地域の諸団体とともに「新作風土記」発刊に貢献されました。



略 歴	
氏 名	宮田 進 様
生 年 月 日	昭和15（1940）年7月9日（80歳）
住 所	川崎市高津区
職 業 等	元認定NPO法人教育活動総合サポートセンター理事長
昭和39(1964)年	川崎市平間小学校教諭
昭和60(1985)年	川崎市教育委員会指導課指導主事
平成元(1989)年	川崎市立上丸子小学校教頭
平成5(1993)年	川崎市立宿河原小学校長
平成6(1994)年	神奈川県永年勤続表彰
平成9(1997)年	川崎市立新町小学校長
平成10(1998)年	川崎市立小学校長会会長(～平成11年) 神奈川県教育委員会教育功労者表彰
平成13(2001)年	川崎市立新町小学校長退職 財団法人川崎市学校給食会専務理事・事務長(～平成16年)
平成16(2004)年	川崎市教育委員会教育委員長(～平成19年) 認定NPO法人教育活動総合サポートセンター設立
平成20(2008)年	認定NPO法人教育活動総合サポートセンター理事・事務局長(～平成22年)
平成21(2009)年	瑞寶双光章受賞
平成23(2011)年	認定NPO法人教育活動総合サポートセンター理事長(～平成24年)
平成25(2013)年	認定NPO法人教育活動総合サポートセンター顧問(～現在)
平成30(2018)年	新作風土記刊行実行委員会編集長
平成31(2019)年	「新作風土記」が刊行される

## 川崎市文化賞受賞者のプロフィール

わかみや たかのり  
若宮 崇令

～市民に親しまれるプラネタリウムに～

川崎市青少年科学館の開館当時からの職員として、市民に自然科学の楽しさを伝えてこられ、市民に親しまれるプラネタリウムへの発展に貢献されました。プラネタリウムの番組制作や投影解説の手法は全国的にプラネタリウムの設置台数が少なかった当時は他館の手本となり、日本プラネタリウム協会会長を務めるなど指導的な役割を担われました。

著名なプラネタリウムクリエイターである大平貴之さんを小学生の頃から指導され、市民協働による自然調査活動を発展させるなど、地域の21世紀型科学館を目指し、自然科学の分野における人材育成、教育・文化活動に尽力されました。



略 歴	
氏 名	若宮 崇令 様
生 年 月 日	昭和18(1943)年6月21日 (77歳)
住 所	長野県諏訪郡富士見町
職 業 等	元川崎市青少年科学館館長
昭和42(1967)年	神奈川県庁入庁 県立青少年センター勤務
昭和46(1971)年	川崎市役所入庁 川崎市青少年科学館(「かわさき宙と緑の科学館」)勤務
昭和51(1976)年	川崎市青少年科学館指導係長(～平成元年)
平成元(1989)年	川崎市八ヶ岳少年自然の家副主幹(～平成6年)
平成6(1994)年	川崎市青少年科学館館長(～平成16年)
平成8(1996)年	日本プラネタリウム研究会会長(～平成12年)
平成12(2000)年	日本プラネタリウム協会会長(～平成16年)
平成16(2004)年	川崎市役所退職 川崎市八ヶ岳少年自然の家勤務(非常勤職員)(～平成24年)
平成18(2006)年	横浜国立大学教育人間科学部講師(～平成23年)
平成24(2012)年	茅野市八ヶ岳総合博物館館長(～平成31年)

## 川崎市文化賞受賞者のプロフィール

いとう たきお  
伊藤 多喜雄

～民謡で独自の表現の道を切り拓く～

日本を代表する民謡歌手として、従来の民謡のスタイルにとらわれない独自の表現の道を切り拓かれ、「ソーラン節」で日本中にブームを起こしNHK紅白歌合戦に2回出演するなど、全国的な活躍をされています。

約50年間にわたり川崎市に拠点を置き、地域活動にも積極的に取り組むとともに、市内で毎年行うコンサートでは「川崎の人と唄」をテーマにするなど、地域愛あふれる音楽活動を展開し、市民に民謡の魅力を伝え続けておられます。平成27年に川崎市市民文化大使に就任し、川崎市のPRに積極的に御協力くださっています。



略 歴	
氏 名	伊藤 多喜雄 様
生 年 月 日	昭和25(1950)年10月6日 (69歳)
住 所	川崎市高津区
職 業 等	民謡歌手
昭和43(1968)年	川崎市高津区に転居
昭和50(1975)年	民謡[藤喜会]を主催、第1回発表会を開催(旧高津市民館)
昭和51(1975)年	(財)日本民謡協会主催「民謡民舞全国大会」民舞の部においてプロデュース、3年連続優勝。内閣総理大臣賞・厚生大臣賞・通産大臣賞受賞
昭和53(1978)年	伊藤多喜雄民謡チャリティーショー主催開催(旧川崎産業文化会館)
昭和63(1988)年	『TAKiO ソーラン節』をCBSソニーからリリース
平成元(1989)年	NHK紅白歌合戦初出場。曲目「ソーラン節」
平成5(1993)年	北海道稚内南中学校 郷土芸能部「ソーラン節」音楽プロデュースにより第9回日本民謡民舞大賞(テレビ東京)で審査員奨励賞受賞
平成6(1994)年	北海道稚内南中学校 郷土芸能部「ソーラン節」音楽プロデュースにより第10回日本民謡民舞大賞(テレビ東京)で日本民謡民舞大賞受賞。
平成9(1997)年	国際交流基金の招聘で南米(パラグアイ・チリ・アルゼンチン)公演を行う
平成14(2002)年	「ソーランフェスタ in かわさき」を出演プロデュース(後援:川崎市)
平成15(2003)年	NHK紅白歌合戦2回目出場。曲目「TAKiOのソーラン節」
平成18(2006)年	特定非営利活動法人フィールドワークスジャパン 民族芸能伝承学舎を設立し「日本各地の唄探しの旅」ツアーをスタート。同時に各地でボランティア活動を始める
平成19(2007)年	第58回全国植樹祭で国歌『君が代』独唱「森の木そーらん」歌唱
平成25(2013)年	伊藤多喜雄コンサート in 溝の口(高津市民館大ホール)。以後、現在に至るまで毎年開催
平成25,26(2013,14)年	東京ディズニーランド「夏祭り」の楽曲にボーカルを担当
平成27(2015)年	川崎市市民文化大使就任(第7期～現在)。ミラノ万博に北海道観光大使として出演
平成29(2017)年	「フジロック2017」に民謡歌手として初出場
令和元(2019)年	民謡オペラ・宝蓑(たからみの)サプライズ友情出演(カルッツかわさき)後援:川崎市。かわさきFM『伊藤多喜雄とめぐ留の民謡クロスオーバー』出演(毎週月曜)
令和2(2020)年	かわさきFM『伊藤多喜雄の好きですかかわさき』出演(毎週木曜12時～生放送)

## 川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

ぺえ ちゅんど  
裴 重度

～差別や偏見のない共生のまちづくりを目指して～

日本人と在日外国人の交流を進める川崎市ふれあい館の設立に尽力され、同館の館長を約20年間務められました。常にマイノリティの人権保障に視点を据え、差別や偏見をなくすための取組とともに、地域における在日外国人の生活や社会参加の支援等、民族の垣根を越えて共に生きる地域社会を目指した実践を展開してこられました。

また、川崎市外国人市民代表者会議の設置や、川崎市多文化共生社会推進指針の策定にも尽力されるなど、約30年間にわたり川崎市の多文化共生施策に関わる各種委員会の委員を務められ、川崎市の多文化共生施策の推進に貢献してこられました。



略 歴	
氏 名	斐 重度 様
生 年 月 日	昭和19（1944）年7月27日（76歳）
住 所	川崎市川崎区
職 業 等	社会福祉法人青丘社理事長
平成2（1990）年	川崎市ふれあい館・桜本こども文化センター館長（～平成22年3月）
平成4（1992）年	川崎市外国人市民施策調査研究委員会委員
平成6（1994）年	「仮称・川崎市外国人市民代表者会議」調査研究委員会調査研究委員（～平成8年3月）。川崎市地域日本語教育推進委員会委員
平成9（1997）年	かわさき人権懇話会委員（～平成11年10月）
平成11（1999）年	かわさき人権啓発推進協議会委員（～平成22年3月）
平成12（2000）年	川崎市外国人市民代表者会議検討委員会委員（～平成14年3月）
平成14（2002）年	川崎市外国人市民施策推進指針検討委員会委員（～平成17年3月） 川崎市川崎区社会福祉協議会評議員（～平成22年3月）
平成15（2003）年	川崎区地域福祉計画策定委員会委員（～平成22年3月）
平成16（2004）年	川崎市次世代育成支援対策地域協議会委員
平成17（2005）年	川崎市小学校における児童の健全育成事業検討委員会委員 川崎市多文化共生施策検討委員会委員（～平成27年3月）
平成20（2008）年	社会福祉法人青丘社理事長
平成27（2015）年	川崎市人権施策推進協議会外国人市民施策部会委員（～平成28年3月）
平成28（2016）年	川崎市人権施策推進協議会多文化共生社会推進指針に関する部会委員（～令和2年3月）

## 川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

やまうち のりあき  
山内 典明

～誰もが安心して身近な地域で歯科診療を受けられるように～

昭和54年の開業以来、約40年間にわたり地域のかかりつけ歯科医として住民に寄り添い、歯科保健医療に従事されてきました。併せて、地域歯科保健医療全体の発展と資質の向上を目指し、川崎市歯科医師会で役員等を務められ、平成27年に会長に就任されました。強い指導力と熱意により同会を牽引し、誰もが安心して身近な地域で歯科診療が受けられるように、川崎市と連携しながら、障害者や高齢者、妊婦を対象にした歯科診療、休日診療体制の構築など、地域歯科診療体制の整備に尽力し、川崎市民の健康維持増進に貢献されました。



略 歴	
氏 名	山内 典明 様
生 年 月 日	昭和 2 9 ( 1 9 5 4 ) 年 3 月 1 2 日 ( 6 6 歳 )
住 所	川崎市川崎区
職 業 等	公益社団法人川崎市歯科医師会会長
昭和54(1979)年	歯科山内医院勤務(～平成2年6月)
平成 2 (1990)年	もとき歯科医院(川崎市川崎区)開設
平成 5 (1993)年	川崎市立渡田小学校学校歯科医(～現在)
平成11(1999)年	(社)川崎市歯科医師会理事(～平成 15 年)
平成13(2001)年	川崎市長表彰(保健衛生功労者表彰)
平成15(2003)年	(社)川崎市歯科医師会専務理事(～平成 21 年)
平成17(2005)年	川崎市長表彰(学校医等永年 10 年表彰)
平成19(2007)年	(社)神奈川県歯科医師会代議員(～現在)
平成21(2009)年	(社)川崎市歯科医師会副会長(～平成 25 年) 神奈川県知事表彰(保健衛生)
平成25(2013)年	(公社)川崎市歯科医師会副会長(～平成 27 年)
平成27(2015)年	(公社)川崎市歯科医師会会長(～現在) (公社)日本歯科医師会代議員(～現在)
平成30(2018)年	川崎市長表彰(学校医等永年 20 年表彰)
令和元(2019)年	神奈川県教育委員会表彰(永年勤続職員表彰) 川崎商工会議所優良産業人表彰

## 川崎市スポーツ賞受賞者のプロフィール

### かわさき 川崎ブルーソックス

～合言葉は「グラウンドでピンピンコロリ」～

川崎市内を活動拠点とする70歳以上で構成される古希軟式野球のチームです。全日本古希軟式野球大会に5回連続出場中で、平成28年と令和元年には見事に全国優勝を果たされました。

選手の平均年齢は75.6歳、最年長の選手は85歳で、日々の練習を行いながら年間約40試合をこなすなど、「グラウンドでピンピンコロリ」を合言葉に精力的に活動をされています。健康づくりや生涯スポーツに取り組む多くの市民の励みともなっており、川崎市が推進する「高齢者のスポーツ推進と運動による健康づくり」を象徴するスポーツチームです。



略 歴	
氏 名	川崎ブルーソックス 様
設 立 年 月 日	平成20（2008）年8月1日（12年）
活 動 拠 点	川崎市内
職 業 等	古希軟式野球チーム（部員35名）
平成20(2008)年	チーム結成
平成27(2015)年	第16回神奈川県還暦野球連盟大会古希の部にて優勝 第25回全日本古希軟式野球大会に神奈川県代表として初出場。準決勝敗退。 以後、第29回大会まで5回連続出場中
平成28(2016)年	第17、18回神奈川県還暦野球連盟大会古希の部にて優勝 第26回全日本古希軟式野球大会にて初優勝
平成29(2017)年	第19、20回神奈川県還暦野球連盟大会古希の部にて優勝 第27回全日本古希軟式野球大会出場。準々決勝敗退
平成30(2018)年	第21、22回神奈川県還暦野球連盟大会古希の部にて優勝 第28回全日本古希軟式野球大会出場。準々決勝敗退
令和元(2019)年	第23回神奈川県還暦野球連盟大会古希の部にて優勝。第24回大会にて準優勝 第29回全日本古希軟式野球大会にて2度目の優勝 同大会の優勝報告のため川崎市長を表敬訪問
※神奈川県還暦野球連盟大会は、平成27年を除き、年2回開催	

## 川崎市アゼリア輝受賞者のプロフィール

ほんだ けい  
本田 奎

～初参加のタイトル戦で挑戦権獲得は史上初の快挙～

川崎で生まれ育った若手将棋棋士で、平成30年にプロデビューして、令和元年には初参加の棋王戦で決定戦に進出されました。初参加のタイトル戦で挑戦権獲得は「史上初」、プロデビューから1年4か月での挑戦権獲得は「史上2番目の速さ」という快挙となりました。令和元年度の将棋大賞新人賞を受賞するなど、将棋界でも注目の若手棋士として際立った活躍をされています。川崎市内の将棋教室で指導されるなど、地元の活動にも熱意をもっておられ、今後の更なる活動が期待されます。



略 歴	
氏 名	本田 奎 様
生 年 月 日	平成9（1997）年7月5日（23歳）
住 所	東京都大田区
職 業 等	プロ将棋棋士
平成21(2009)年	川崎市立子母口小学校卒業 奨励会入会
平成24(2012)年	川崎市立東橋中学校卒業
平成26(2014)年	三段昇格
平成27(2015)年	目黒学院高等学校卒業
平成30(2018)年	第63回三段リーグで15勝3敗の成績で四段昇段
令和元(2019)年	初参加となった第45期棋王戦にて、渡辺明棋王への挑戦権を獲得。渡辺棋王との 五番勝負は1勝3敗に終わる。五段昇段 第47回 将棋大賞新人賞受賞（2019年度）
令和2(2020)年	初参加となった第61期王位戦では挑戦者決定リーグ進出 YouTube「川崎市チャンネル」のプログラム「メッセージ for Kids～川崎の子どもたちへ」へ出演

令和2年度 川崎市文化賞等選考委員(敬称略・五十音順)

	氏 名	分 野	所 属
1	伊東 文生	保健衛生	聖マリアンナ医科大学教授
2	大仁田 雅彦	芸術 (演劇)	昭和音楽大学教授
3	川崎 一泰	産業経済	中央大学教授
4	菊地 正	スポーツ	川崎市総合型地域スポーツクラブ 育成連絡協議会会長
5	久保田 昌希	学術 (人文科学-歴史学)	駒澤大学名誉教授
6	田中 純子	芸術 (音楽)	洗足学園音楽大学名誉教授
7	林 容子	芸術 (美術)	尚美学園大学・大学院准教授
8	山田 健太	学術 (人文科学-言論学)	専修大学教授
9	行實 志都子	社会福祉	神奈川県立保健福祉大学准教授
10	加藤 順一	行政	副市長
11	向坂 光浩	行政	市民文化局長
12	石井 宏之	行政	教育次長

## 川崎市文化賞等実施要綱

(目的)

第1条 川崎市の文化、芸術、学術、教育、社会福祉、保健衛生及びスポーツ等の向上並びに及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

(文化賞等の種類)

第2条 川崎市文化賞等の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 川崎市文化賞
- (2) 川崎市社会功労賞
- (3) 川崎市スポーツ賞
- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

(主催)

第3条 川崎市文化賞等の主催は、川崎市とする。

(候補者の推薦)

第4条 川崎市文化賞等に係る受賞の対象となる候補者については、次に掲げるものから必要書類を添えた第1号様式又は第2号様式により推薦を受ける。

- (1) 市内の関係機関及び団体
- (2) 本市における局区室

(文化賞等の選考)

第5条 川崎市文化賞等に係る受賞者の選考は、川崎市附属機関設置条例(平成27年川崎市条例第1号)第2条及び第3条の規定に基づき、川崎市文化賞等選考委員会(以下「選考委員会」という。)が行う。

(選考基準)

第6条 受賞者は、川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある者で、次の基準に該当する者等のうちから、選考委員会の選考に基づき、市長が決定する。

- (1) 川崎市文化賞

川崎市における文化・芸術の向上・発展に尽力し、その功績が顕著と認められる者等又は教育・学術・芸術の分野において、創造的な活動・実績により川崎市のシティセールスにつながる成果をあげ、その功績が顕著と認められる者等

- (2) 川崎市社会功労賞

川崎市における市民生活や地域社会の向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著と認められる者等

- (3) 川崎市スポーツ賞

国際大会や国内大会等で卓越した成績、記録をあげた者等又は川崎市におけるスポーツの向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著と認められる者等

- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

文化・芸術分野において現在活躍中の若年層又は中堅層で、更に今後の活躍が特に期待さ

れる者、川崎らしい特色ある活動をしている者、特定の分野における抜群の成果を収めた者  
等

(表彰)

第7条 第6条の規定により、決定した者について、賞状及び副賞を贈呈し、これを表彰する。

(特別賞)

第8条 市長は、この要綱に定めるもののほか、特に顕著な活躍をし、功績があった個人又は団体  
に対し、選考委員会の選考を経ずに特別賞を贈呈することができる。

(庶務)

第9条 川崎市文化賞等に関する庶務は、市民文化局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年7月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年9月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年3月1日から施行する。

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

	分野	推薦基準
文化賞	教育	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、川崎市における文化の向上、発展に尽力し、また貢献し、とくにその功績顕著な者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における文化の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	学術	
	芸術	
	文化活動	
社会功労賞	社会福祉	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	保健衛生	
	産業・経済	
	地域振興	
スポーツ賞	スポーツ実践	<p>1 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人又は団体であり、次のいずれかに該当</p> <p>(1) 国際大会入賞</p> <p>(2) 国内大会2年連続優勝又はこれに準じた成績</p> <p>(3) 競技人口が多く、レベルの高い国内大会に優勝又はこれに準じた成績</p> <p>(4) 日本新記録など特に優秀な記録</p> <p>※対象となる大会は、次のとおりとする。</p> <p>ア 国際大会</p> <p>オリンピック競技大会、世界選手権大会(ワールドカップ)、アジア大会、ユニバーシアード、パラリンピック、フェスピックその他これに準じた大会</p> <p>イ 国内大会</p> <p>日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、その他これに準じた大会</p>
	スポーツ振興	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した団体。</p>

	分野	推薦基準
アゼリア輝賞	文化 芸術 スポーツ 実践等	<p>1 若年層及び中堅層の個人又は団体</p> <p>(1) 個展・演奏会・公演・講演等の活動において現在活躍中で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体。</p> <p>(2) 川崎らしい特色ある活動をしている個人又は団体、特定の分野における抜群の成果を収めた個人又は団体。</p> <p>(3) 各部門においてその年に顕著な業績をあげ、広く市民に希望と感動をもたらした個人又は団体。</p>

川崎市文化賞等をこれまでに受賞された方々(敬称略)

No. 1

昭和47年度(第1回)		昭和56年度(第10回)		昭和63年度(第17回)	
安藤 英輔 (研究活動)	奥田 千秋 (保健衛生)	井上 房江 (保健衛生)			
石川 八代次 (教育実践)	芹澤 忠蔵 (社会福祉)	竹田 道太郎 (芸術)			
伊藤 六郎兵衛 (郷土史研究)	野本 琢 (社寺建築)	土方 恵治 (教育)			
大古 誠司 (スポーツ実践)	藤子不二雄 (児童漫画)	水原 春郎 (地域医療)			
川崎市民交響楽団 (音楽)	京浜協同劇団 (地域文化)	三井 春富 (文化交流)			
齊藤 茂 (美術)	昭和57年度(第11回)		幸の会 (社会福祉)		
中原 誠 (一般文化)	植松 正子 (母子保健)	平成元年度(第18回)			
昭和48年度(第2回)		高野 榮 (障害者福祉)	内海 榮一郎 (地域医療)		
圓鍔 勝二[勝三] (美術)	田邊 秀治 (社会福祉)	奥田 良三 (芸術)			
笠井 儀郎 (スポーツ実践)	松原 秀耕 (文化振興)	柏木 武司 (社会福祉)			
庄野 潤三 (文芸)	山田 太一 (文芸)	亀ヶ谷 利男 (文化財保護)			
高島 松柏 (教育実践)	川崎古式消防纏保存会 (文化財保護)	手塚 彌太郎 (産業振興)			
日本鋼管株式会社硬式野球部 (スポーツ実践)	川崎青年会議所・高津青年会議 (地域文化)	野谷 博司 (教育)			
昭和49年度(第3回)		昭和58年度(第12回)		三宅 忠雄 (保健衛生)	
太田 清一 (保健衛生)	嘉重 きよ (社会福祉)	東芝女子バスケットボール部 (スポーツ実践)			
小笠原 洪一 (スポーツ実践)	古尾谷 盛太郎 (地域文化)	平成2年度(第19回)			
金子 直蔵 (社会福祉)	前田 徳尚 (保健衛生)	石川 幾蔵 (地域文化)			
山室 静 (文芸)	森 爽海 (教育)	一ノ瀬 志郎 (保健衛生)			
結城 正雄[天童] (美術)	川崎市歯科医師会心身障害児 (社会福祉)	小川 信夫 (教育)			
昭和50年度(第4回)		歯科治療協力医グループ	小黒 恵子 (芸術)		
川嶋 廣吉 (保健衛生)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	小西 乾太郎 (文化振興)			
齋藤 壽一 (絵画)	川崎野球部<通信制>	濱田 靖一 (学術)			
島田 きみ (社会福祉)	人形劇団ひとみ座 (演劇)	さざなみ会 (社会福祉)			
藤田 親昌 (文化振興)	昭和59年度(第13回)		法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		
松尾 興助 (社会教育)	石川 芳松 (文化財保護)	アメリカンフットボール部			
昭和51年度(第5回)		磯野 和久 (保健衛生)	平成3年度(第20回)		
大山 義隆 (保健衛生)	臼田 吉男 (保健衛生)	文化賞	井上 和賀雄 (教育)		
國枝 慶一 (社会福祉)	小野寺 章彦 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)		
久保 常晴 (学術)	柏倉 政男 (社会福祉)		日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)		
濱田 庄司 (美術)	小林 英男 (地域文化)	社会功労賞	安藤 武次 (社会福祉)		
まど・みちお (文学)	長江 録弥 (芸術)		松田 文太郎 (保健衛生)		
多摩芸術学園「わが町一溝の口」(演劇)	前田 豊子 (教育)		三木 齊 (産業経済)		
構成・出演者一同	法政大学第二高等学校ハレホール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	山田 敬蔵 (スポーツ振興)		
昭和52年度(第6回)		昭和60年度(第14回)		東芝野球部 (スポーツ実践)	
高橋 憲太郎 (文化振興)	井田 潔 (保健衛生)		富士電機女子ハレホール部 (スポーツ実践)		
馬來田 善孝 (美術)	岡 時義 (社会福祉)	平成4年度(第21回)			
宮田 多良喜 (スポーツ振興)	栗田 正文 (保健衛生)	文化賞	渋谷 益左右 (文化活動)		
川崎沖縄芸能研究会 (文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		杉山 康彦 (学術)		
昭和53年度(第7回)		坂東 忠彦 (教育)	谷川 健一 (学術)		
麻生 三郎 (美術)	米山 市郎 (地域文化)		萩坂 桃彦 (芸術)		
渡辺 三郎 (保健衛生)	禰直舞保存会 (文化財保護)		東芝科学館 (文化活動)		
市川 昇 (文化振興)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	市川 ハル (社会福祉)		
小向・菅・初山の獅子舞保存会 (文化財保護)	フェンシング部		鈴木 清次 (地域振興)		
河上 徹太郎 (文芸)	昭和61年度(第15回)		渡邊 嘉造伊 (保健衛生)		
東芝野球部 (スポーツ実践)	小田切 純一 (医療)	スポーツ賞	NKKハスケツトホール部 (スポーツ実践)		
中山 貞治 (社会福祉)	小林 明治 (障害者福祉)	平成5年度(第22回)			
昭和54年度(第8回)		白井 禄郎 (教育実践)	文化賞	岩谷 隆存 (教育)	
青江 舜二郎 (演劇)	田中 岑 (芸術)		古江 亮仁 (文化財保護)		
石井 展子 (社会福祉)	沼田 稲次郎 (教育実践)		村上 直 (学術)		
齋藤 武雄 (スポーツ振興)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	近藤 正夫 (保健衛生)		
田中 利三 (保健衛生)	川崎<通信制>卓球部		川崎信用金庫 (地域振興)		
箕輪 敏行 (社会教育)	水車の会 (社会福祉)	スポーツ賞	小林 完一 (スポーツ振興)		
新城郷土芸能保存会 (文化財保護)	昭和62年度(第16回)		早川 友二 (スポーツ実践)		
昭和55年度(第9回)		猪熊 和吉 (地域文化)	檜森 祐之 (スポーツ実践)		
岡 信孝 (芸術)	西郷 信綱 (学術)	平成6年度(第23回)			
鈴木 弘治 (保健衛生)	鈴木 正 (教育)	文化賞	飯嶋 和夫 (教育)		
松井 浩正 (スポーツ振興)	中野 一雄 (スポーツ振興)		湯上 二郎 (教育)		
持田 春吉 (社会教育)	二階堂 龍夫 (芸術)		小澤 征爾 (芸術)		
横山 央 (社会福祉)	古沢 妙 (社会福祉)	社会功労賞	高士 利男 (保健衛生)		
川崎少年少女合唱団 (地域文化)	馬嶋 正雄 (保健衛生)		中島 忠三 (地域振興)		
	梓の会 (社会福祉)		李 仁夏 (社会福祉)		

平成6年度(第23回)(続き)		平成13年度(第30回)(続き)		平成20年度(第37回)	
社会功労賞	近藤 俊朗 (社会福祉) 原 泰造 (社会福祉)	社会功労賞	壁 義彰 (社会福祉) 窪田 敏昭 (保健衛生) 小峯 利一 (産業経済)	文化賞	与 勇輝 (芸術) 佐藤 忠男 (芸術)
スポーツ賞	高橋 三代子 (スポーツ実践) 神奈川県立住吉高等学校 (スポーツ実践) フライング部LANCERS			社会功労賞	宮川 政久 (保健衛生) 和田 義盛 (地域振興)
平成7年度(第24回)		平成14年度(第31回)		平成21年度(第38回)	
文化賞	小川 一朗 (学術) 久保 陽子&弘中 孝 (芸術) 岡本 喜八 (芸術)	文化賞	中島 豪一 (文化活動) 民具製作技術保存会 (文化活動)	スポーツ賞	川崎市立橋高等学校 (スポーツ実践) ハレーボール部 富士通女子バスケットボール部 (スポーツ実践)
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉) 田中 忠一 (保健衛生) 高橋 隆天 (地域振興)	社会功労賞	芽の字会 (社会福祉) 松尾 成久 (保健衛生) 持田 俊夫 (産業経済)	アゼリア輝賞	大矢 高弓 (芸術(美術)) 廣田 美穂 (芸術(音楽)) 中込 璋 (平和活動)
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉) 田中 忠一 (保健衛生) 高橋 隆天 (地域振興)	平成15年度(第32回)		国際貢献特別賞	中込 璋 (平和活動)
スポーツ賞	隆三杉 太一 (スポーツ実践) 成田 真由美 (スポーツ実践)	文化賞	神奈川県立多摩高等学校 (芸術) 合唱部 齋藤 文夫 (文化活動)	文化賞	加古 里子 (芸術) 佐藤 征一郎 (芸術)
平成8年度(第25回)		社会功労賞	大谷 金一 (社会福祉) 栗山 覚 (保健衛生) 吉野 辰男 (地域振興)	社会功労賞	金子 忠雄 (社会福祉) 久保木 弘 (保健衛生) 朝日 健太郎 (スポーツ実践)
文化賞	碓井 正久 (教育) 麻生フルハーモニー管弦楽団 (芸術) 齋間 萬 (文化活動) 中川 竹泰 (文化活動)	スポーツ賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 加藤 時太郎 (スポーツ振興)	スポーツ賞	朝日 健太郎 (スポーツ実践) 左澤 重明 (スポーツ振興)
社会功労賞	馬嶋 喜多子 (社会福祉) 鈴木 正一 (保健衛生) 日本アイ・ピー・エム株式会社 (地域振興) 川崎事業所	アゼリア輝賞	大平 貴之 (文化(天文)) 秦 江里奈 (芸術(音楽))	アゼリア輝賞	大類 朋美 (芸術(音楽)) 真飛 聖 (芸術(演劇))
スポーツ賞	三菱自動車川崎硬式野球部 (スポーツ実践)	平成16年度(第33回)		平成22年度(第39回)	
文化賞	篠原 一 (教育) 東芝ライトオン・ジャズ・オーケストラ (芸術) 今村 昌平 (芸術) 無羅多 正建 (文化活動)	文化賞	原田 尚彦 (学術) 大矢 紀 (絵画) 角田 益信 (郷土史)	文化賞	藤嶋 昭 (学術・教育) 白鳥 あかね (芸術(映画))
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉) 田辺 誠 (保健衛生)	社会功労賞	白野 明 (社会福祉) かわさき自然調査団 (地域振興)	社会功労賞	大山 泰弘 (社会福祉・産業経済) 太田 正治 (保健衛生) 中山 茂 (産業経済・地域振興)
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)	スポーツ賞	目黒 友薫 (フェンシング) 李 相日 (映画(監督)) 三瓶 将廣 (ハイクルモクロス)	スポーツ賞	車 耕作 (スポーツ振興) 小林 政高 (芸術(音楽)) 光岡 暁恵 (芸術(音楽)) 東芝野球部 (スポーツ実践)
平成9年度(第26回)		平成17年度(第34回)		平成23年度(第40回)	
文化賞	篠原 一 (教育) 東芝ライトオン・ジャズ・オーケストラ (芸術) 今村 昌平 (芸術) 無羅多 正建 (文化活動)	文化賞	横山 榮二 (環境保全) 鶴澤 久 (能楽)	文化賞	青木 信雄 (教育) 井口 衛 (教育) 高野 映子 (文化活動)
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉) 田辺 誠 (保健衛生)	社会功労賞	安藤 國男 (障害者福祉) 齊藤 二郎 (地域福祉) 田中 辰彦 (地域医療)	社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉) 小島 春男 (地域振興) (財)川崎市国際交流協会 (地域振興) 日本語講座ボランティア 後藤 正孝 (ピアノ)
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)	スポーツ賞	中田 大輔 (トランポリン) 神谷 百子 (芸術(音楽)) 松下 京介 (芸術(音楽))	スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
平成10年度(第27回)		平成18年度(第35回)		平成24年度(第41回)	
文化賞	芳賀 周一郎 (教育) 藤村 志保 (芸術) 細山郷土資料館 (文化活動)	文化賞	小川 典子 (ピアノ) 小池 汪 (写真) 藤田 朝也 (演劇)	文化賞	江頭 秀夫 (文化活動) 和田 あき子 (文化活動) 萩原 保夫 (社会福祉)
社会功労賞	林 壽男 (社会福祉) 田山 四郎 (保健衛生) 福嶋 三郎 (産業経済)	アゼリア輝賞	奥村 栄 (社会福祉) 杉浦 芳子 (地域医療)	社会功労賞	萩原 保夫 (社会福祉) 間瀬 実 (保健衛生)
スポーツ賞	佐々木 竹見 (スポーツ実践) 日野原 守 (スポーツ振興)	スポーツ特別賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 東芝プレイブサンダース (スポーツ実践)	スポーツ特別賞	専修大学体育会サッカー部 (スポーツ実践)
平成11年度(第28回)		平成19年度(第36回)		平成25年度(第42回)	
文化賞	杉本 長治 (教育) 三輪 晃久 (芸術)	文化賞	秋山 和慶 (音楽) 森川 定實 (平和運動)	文化賞	(公財)東京交響楽団 (芸術)
社会功労賞	電機連合神奈川県地方協議会 (社会福祉) 池田 宏 (保健衛生) 栗原 福蔵 (産業経済) 間島 快子 (地域振興)	社会功労賞	石井 哲夫 (社会福祉) 小泉 一郎 (産業経済)	アゼリア輝賞	垣内 悠希 (芸術(音楽)) 毛利 文香 (芸術(音楽))
スポーツ賞	伊東 浩司 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽)) 成海 璃子 (芸術(演劇))	スポーツ特別賞	市立橋高等学校女子バレーボール部 (スポーツ実践) 立石 諒 (スポーツ実践)
平成12年度(第29回)		平成13年度(第30回)		平成25年度(第42回)	
文化賞	篠田 卓夫 (教育) 渡辺 豊重 (芸術) 吉田 喜重 (文化活動)	アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽)) 成海 璃子 (芸術(演劇))	社会功労賞	高橋 章 (保健衛生) 都倉 正明 (産業・経済) 飯田 和子 (地域振興)
社会功労賞	小林 五代子 (社会福祉) 工藤 昭 (産業経済)	スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)		
スポーツ賞	東芝男子バスケットボール部 (スポーツ実践) 伊丹 寅吉 (スポーツ振興)	スポーツ賞	法政大学アムカンフットボール部 (スポーツ実践) 春日山部屋 (スポーツ振興)		
平成13年度(第30回)		アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽)) 成海 璃子 (芸術(演劇))		
文化賞	森久保 安美 (教育) 名渡山 兼一 (文化活動) 上田 恒三 (文化活動)	スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)		

平成25年度(第42回)(続き)		平成30年(第47回)	
スポーツ賞	井端 弘和 (スポーツ実践) 柿生青少年柔道会 (スポーツ振興)	文化賞	法政大学第二高等学校物理部 (教育) 三輪 修三 (学術)
アゼリア輝賞	内田 けんじ (芸術(映画)) 昆 夏美 (芸術(音楽))	社会功労賞	嶋 元 (保健衛生)
スポーツ特別賞	大久保 嘉人 (スポーツ実践) 東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)	スポーツ賞	法政大学第二高等学校ハンドボール部 (スポーツ実践)
平成26年度(第43回)		アゼリア輝賞	大間々 昂 (芸術) 特定非営利活動法人カワサキミュージックキャスト (文化活動)
文化賞	城谷 護 (文化活動) 寺尾 嘉剛 (文化活動) 奈良岡 朋子 (芸術) 炉端の会 (文化活動)	スポーツ特別賞	河合 来夢 (スポーツ実践) 川崎フロンターレ (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践) 家長 昭博 (スポーツ実践)
社会功労賞	井田 満夫 (保健衛生)	令和元年(第48回)	
スポーツ賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)	文化賞	太田 猛彦 (教育) 国府 弘子 (芸術) 藤嶋 とみ子 (文化活動)
アゼリア輝賞	細川 千尋 (芸術(音楽)) 三寺 郷美 (芸術(ダンス))	社会功労賞	西野 博之 (社会福祉)
スポーツ特別賞	浜田 千穂 (スポーツ実践) 大久保 嘉人 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	鈴木 菜穂子 (芸術) 友風 勇太 (スポーツ実践)
平成27年(第44回)		スポーツ特別賞	望月 慎太郎 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
文化賞	大谷 康子 (芸術) 小原 孝 (芸術) 長島 保 (文化活動) 渡辺 賢二 (教育)		
社会功労賞	新井 靖子 (社会福祉)		
アゼリア輝賞	赤瀬 紗也香 (スポーツ実践) 渡邊 麗美 (スポーツ実践)		
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践) 大久保 嘉人 (スポーツ実践)		
平成28年(第45回)			
文化賞	河原 郁夫 (文化活動) 鈴木 穆 (文化活動) 深見 政則 (文化活動) 影向寺重要文化財・史跡保存会 (文化活動)		
社会功労賞	渡邊 嘉久 (保健衛生)		
スポーツ賞	川崎フロンターレ (スポーツ振興)		
アゼリア輝賞	やまだ 豊 (芸術)		
スポーツ特別賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践) 山口 貴久 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践) 中村 憲剛 (スポーツ実践)		
市民特別賞	成田 真由美		
平成29年(第46回)			
文化賞	小倉 美恵子 (文化活動) 川崎市立坂戸小学校合唱団 (文化活動)		
社会功労賞	高野 繁 (保健衛生)		
スポーツ賞	川島 哲男 (スポーツ実践)		
アゼリア輝賞	新井 卓 (芸術) 桑原 あい (芸術)		
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践) ニック・ファジーカス (スポーツ実践) 川崎フロンターレ (スポーツ実践) 小林 悠 (スポーツ実践) 富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)		

## 川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞・特別賞の経過について

川崎市文化賞等は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

1. 制定 昭和47年（第1回贈呈式 昭和47年11月3日）
  - (1) 平成3年度第20回を契機に川崎市文化賞を「川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞」に改正
  - (2) 平成15年度第32回に新たにアゼリア輝賞を新設
  - (3) 平成17年度第34回に特別賞を新設

### 2. 賞の内容

- (1) 賞状
- (2) 副賞 文化賞・社会功労賞・スポーツ賞（30万円）  
アゼリア輝賞（10万円）、特別賞（10万円）
- (3) 記念品
  - ・文化賞・社会功労賞・スポーツ賞については、渡辺豊重氏デザインによるガラス作品「Heart for You」
  - ・アゼリア輝賞・特別賞については、平山義氏デザインによるガラス作品「燦<sup>きら</sup>」  
※制作は東京ガラス工芸研究所

### 3. 受賞者総数

(昭和47年から令和2年まで)	個人	309	(特別賞を含む)
	団体	80	(特別賞を含む)
	計	389	

### 4. 分野別受賞者

( ) 内は団体（再掲）

文化賞		社会功労賞		スポーツ賞		アゼリア輝賞	
教育	33(1)	社会福祉	46(8)	実践	38(22)	学術	1
学術	10	保健衛生	44	振興	17(4)	音楽	17
芸術	56(9)	産業経済	9	合計	55(26)	美術	1
文化活動	52(14)	地域振興	13(4)			演劇	4
合計	151(24)	合計	112(12)			スポーツ	4
						その他	5(1)
						合計	32(1)

特別賞	
合計	39(17)

5. 令和2年度推薦依頼先 156件（大学・各種団体他）